

中央道整備へまた一歩

雲海橋交差点

2.8*^{11/10}

日之影深角 IC

あす午後3時開通

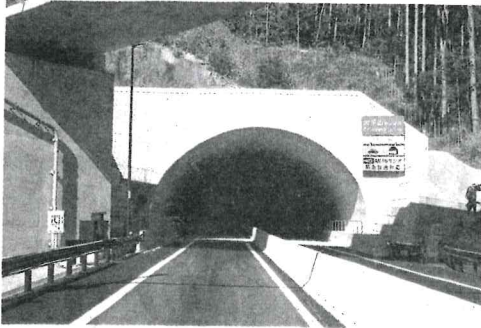


日之影深角IC付近をドローンで撮影。写真上が延岡方面。中央を北上する道が高千穂日之影道路の本線。本線を半円形状に横切る道は、広域農産西臼杵地区(通称・神話メグロロード)。写真の左方面に進むと、高千穂町岩戸につながる(国交省提供)

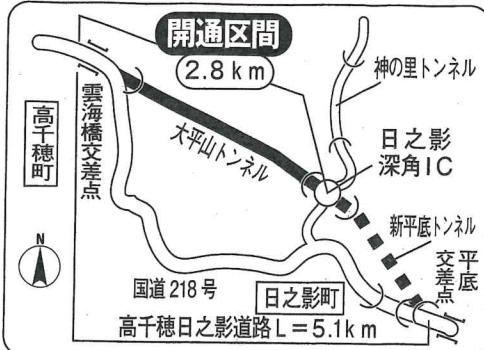
九州中央自動車道の一部となる国道218号高千穂日之影道路のうち、雲海橋交差点(日之影深角IC)2.8km、無料区間がある午後3時に開通する。開通に先立ち、午前10時から日之影深角ICで開通式典(国土交通省、宮崎県、日之影町主催)を開き、くす玉開披やテープカットを行った。

高千穂日之影道路は、大平山トンネル(2.0km)と雲海橋交差点から東に大平山トンネル(日之影深角IC)新平底下トンネル(1.1km)と西支区(1.7km)とに分けて建設された。急峻(きゅうしゅん)な現道区間をトンネルで結ぶこと、高千穂延岡間の所要時間が約3分短縮。また、線形不良区間を回避することにより

大平山トンネル(2.0km)は、県立延岡病院など救急医療機関への安全な走行が確保され、搬送患者の負担が軽減される。残る日之影深角IC(2.3km)は、20年5月に新平底下トンネル(1.6km)の建設に着手、10月末現在1.284.5mを掘削、進捗(しんちゅう)率は約77%。開通時期は未定。国道218号北方延岡道路(蔵田交差点～延岡JCT・IC)に続く九州中央道の真内区間開通に、河野俊嗣知事は「大規模災害時の緊急輸送や救急医療への対応はもとより、広域観光や林業など地場産業の振興につながる。開通を契機に西臼杵地域のさまざまな魅力が一層発信できるように努むことを楽しみにしている」と喜びを語った。



大平山トンネルの東側坑口



高千穂地区建設業協会

会長 興梠 俊茂
 副会長 工藤 勝利
 副会長 木田 壮一郎
 ほか会員一同

西臼杵郡高千穂町大字三田井86-2
 TEL0982-72-3128

2018.11.10